

平成 22 年 2 月 22 日
電源開発株式会社
豊田通商株式会社

風力発電事業会社の保有株式の譲り受けについて
～国内の風力発電所が 15 地点に～

電源開発株式会社（以下：J-POWER、本社：東京都中央区、社長：北村雅良）は、本日、豊田通商株式会社（以下：豊田通商、本社：愛知県名古屋市、社長：清水順三）から、以下の風力発電事業会社の保有株式を譲り受けました。

- ・ 「株式会社ウインドテック田原」（豊田通商が運営している風力発電事業会社）の保有株式の全株式。（J-POWER として国内 15 番目の風力発電所）
- ・ 「株式会社ジェイウインド東京」および「株式会社ジェイウインド田原」（J-POWER と豊田通商との共同風力発電事業会社）の豊田通商持分株式（株ジェイウインド東京全株式の 50%、株ジェイウインド田原全株式の 34%）。

これにより両風力発電事業会社は J-POWER100%出資となりました。

これは、豊田通商グループの風力発電事業再編の一環として、譲渡についてお話があり、協議の結果、J-POWER が譲り受けるに至ったものです。

豊田通商グループは、風力発電機器販売についてはヴェステックジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：中野 眞）を中心に、風力発電事業については株式会社ユーラスエナジーホールディングス（本社：東京都港区、社長：永田哲朗）を中心に、これからも国内外における更なるクリーン電力導入の促進を目指してまいります。

J-POWER は、エネルギーと環境の共生を標榜し、再生可能エネルギーの一つとして風力発電事業の推進に取り組んでおり、今回の譲り受けにより、J-POWER の稼働中の風力発電設備は、国内 15 発電所 合計 270,860kW、海外 1 発電所 48,000kW となりました。J-POWER は、これまでの風力発電事業の知見・経験を活用し、一層の効率的、安定的な運転を図り風力エネルギーのさらなる有効活用を目指します。

以 上